

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月18日更新

事務事業名		農道・用排水路等整備事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	事業部	課長名	岐部 則夫
	施策	11	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	岡田 晃治
	基本事業	31	生産基盤の確保			所属班	農地整備班	(内線)	1173
予算科目	会計一般	款6	項1	目12	事業連番10271	法令根拠	成果優先度評価結果：⑨ コスト削減優先度評価結果：①		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 農産物の荷傷み防止と作業効率アップを図るために農道や用排水路の整備を行う事業。 農地及び農業用施設の災害復旧事業 農業基盤整備促進事業により排水等の整備を計画する。
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> 要望(区、農業者、行政)②現地確認③測量、設計の発注④地元説明会の実施⑤工事発注手続き及び実施⑥完了検査⑦施工ヶ所の現場状況把握 農地等災害復旧事業においては、上記以外に補助金申請等業務が発生する。
【主な予算費目】	<ul style="list-style-type: none"> 3職員手当 11需用費 13委託料 14使用料及び賃借料 15工事請負費 19負担金補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	<ul style="list-style-type: none"> 農作物等の荷傷み防止、冠水防止又維持管理に費やす多大な労力を節減する観点から早期着工を望む。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:	
①手段(主な活動)26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	農道・用排水路整備測量設計(3件) 農道改良舗装等整備工事(4件) 農道等維持工事(7件) 水路浚渫(2件)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	農道・用排水路測量設計、農道改良・舗装工事、農道等維持工事、農地等災害復旧工事
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)ア:施工箇所数 イ:地元説明会	予算の主な増減の理由	補助工事実施による増
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	農道、用排水路	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)ア:施工・委託数 イ:回
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	農道、用排水路を良好な状態に整備する。	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)ア:事業を完了した施工・委託箇所数 イ:回
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠 認定農業者の割合が高くなるにつれ農道等整備した効果が収入に反映されると考えられる。			総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込	
①活動指標	ア 箇所		22	13	4	10	10	10	10	10	
	イ 回		0	0	3	0	3	3	3	3	
②対象指標	ア 件		24	16	20	12	20	20	20	20	
	イ										
③成果指標	ア 件		24	16	20	12	20	20	20	20	
	イ										
投資 入費 量	財源内訳	国庫支出金	千円	7,013		1,400	1,188	7,500	26,964	26,964	26,964
		都道府県支出金	千円			420	717	2,250			
		地方債	千円								
		その他	千円	760							
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	29,096	23,119	2,280	23,760	16,572	53,964	53,964	53,964
		(A)のうち指定経費	千円	36,869	23,119	4,100	25,665	26,322	80,928	80,928	80,928
		(A)のうち時間外、特勤	千円	455	575	640	623	713	456	456	456
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	3	4	3	3	3	0
		延べ業務時間	時間	2,200	932	1,000	800	2,760	0	0	0
(B)人件費計		千円	8,956	3,713	3,984	3,187	10,995	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	45,825	26,832	8,084	28,852	37,317	80,928	80,928	80,928	

事務事業名	農道・用排水路等整備事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	--------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ・前年度実績による目標設定したため	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ・補助事業や単独事業で施工し、補助要綱・地元協議を基本に施工している。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・類似事業なし	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・基本的に単年度事業であり、成果も達成された。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・基本的に単年度事業であり、成果も達成された。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ・受益者負担の検討余地がある。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ・市が管理する農道や排水路であるため適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<ul style="list-style-type: none"> ・要望に対する農道や排水路等の良好な整備を行った。 ・要望や受益者の利便性に対応するため、早期に着工できるよう積算等の事務処理を目指す。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						